

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 中尾 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

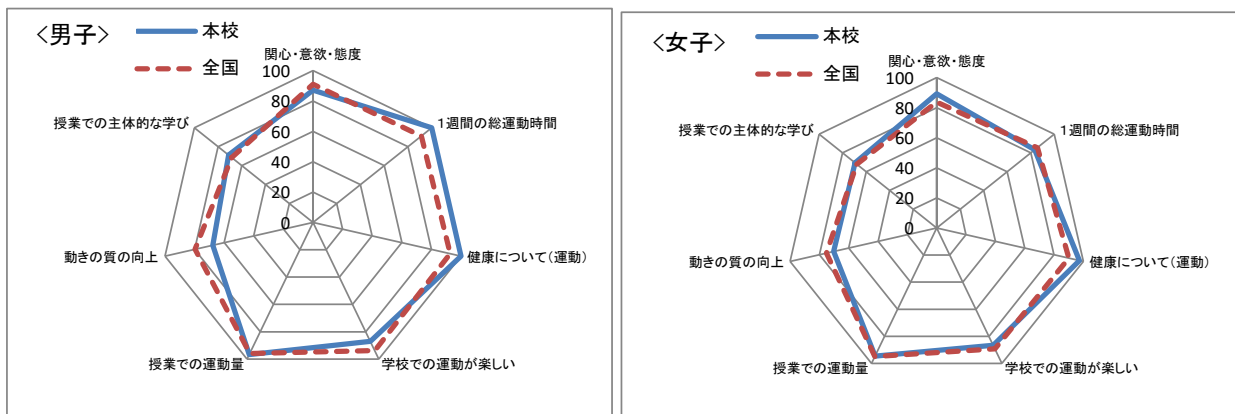
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- ・7項目のうち、男子で4項目、女子で4項目で全国平均を上回っていた。
- ・男女とも体育の授業に対して肯定的な意見が多く、スポーツに積極的に取り組む児童も多く、健康に対する意識も高い。これは、本校が取り組んでいる、児童が主体的・対話的な授業の成果であると考えられる。これに加え、授業でのふり返りを行うことで、動きの質の向上につながっていくものとする。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・全校で今までの授業に加え、ふり返り活動を徹底していくことで、動きの質の向上につなげていく。
- ・準備運動で「5分間走」を取り入れたことで、授業での運動量は全国平均を上回ることができたので、継続し、柔軟性と持続力を高めるためストレッチ運動とリズム体操を取り入れ、一人一人の能力を高める。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・今年度同様、「5分間走」「跳び箱週間」を実施し、児童の体力アップや瞬発力、柔軟性の向上を図る。
- ・全学年で「体力テスト」の個人カードを作成し、家庭にも周知し啓発を図る。